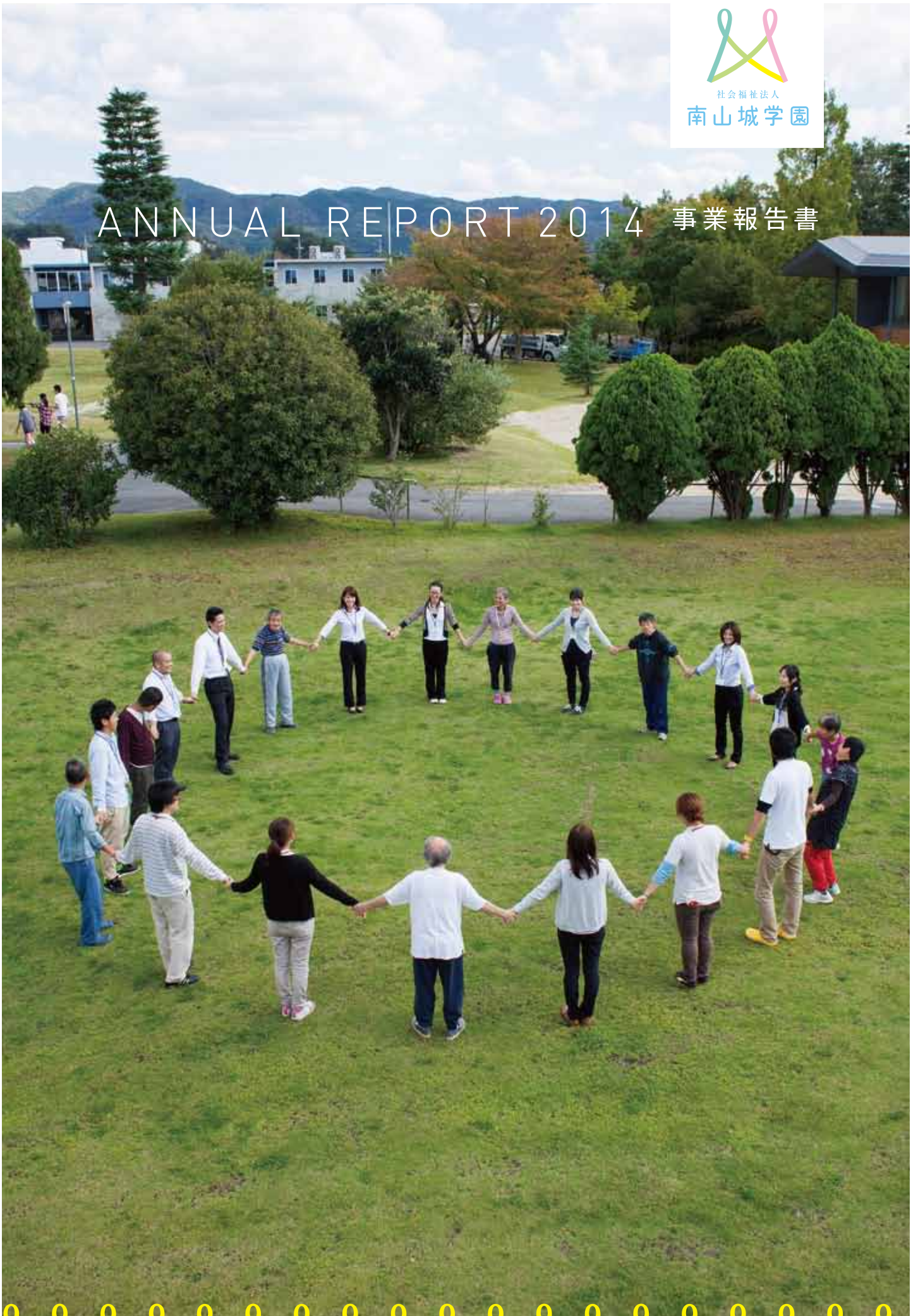




社会福祉法人
南山城学園

ANNUAL REPORT 2014 事業報告書





平成26年度 **事業実績報告**



▲平成26年10月 城陽市との調印式 (左:磯彰格理事長 右:奥田敏晴市長)



福祉避難所として
災害時をささえる

福祉避難所としての機能を有した彩雲館が平成26年6月に竣工。10月には城陽市と「福祉避難所の設置及び運営に関する協定」^{あやぐもかん}を結び、大規模災害を想定した避難所訓練を佛教大学福祉教育開発センター・後藤至功氏の指導のもと実施しました。

高齢の方や障害のある方など「災害弱者」といわれる人々を地域から受け入れ、安心して安全に過ごせる避難所を運営できるよう、福祉的な観点に基づいて訓練を実施しました。

セミナーやイベントで
理解をひろめる

「困っている人を見かけたとき、そっと手を差し伸べる人が増えてほしい」そんな想いから地域住民向けにセミナーや体験イベントを開催しています。
特に障害者については、自ら歩み寄りなければ関わる機会が少ないことから、初めの一歩を踏み出せるよう、理解を広める活動を強化しています。



児童福祉センター副院長の門眞一郎氏を招き、発達障害の理解を促すセミナーを開催。「お子さん連れでも参加しやすく」と託児所を完備しました。(4月6日)



「歩道を花と緑でいっぱい」。施設前の緑化活動に参加しました。(5月28日)



地域貢献活動に参加
一市民として

「私たちもこの地の住民。」
利用者様も市民の一人として地域のために、社会のためにできることで地域貢献活動に参加しました。

介護老人保健施設「煌」で、飲み込みに不安がある人も安心して食べられる嚥下食づくりや電動車いすの試乗、靴の測定などの体験イベントを開催しました。(9月3日)



祇園祭ではリユース食器を導入。しかし、回収後の洗浄と乾燥が課題に。そこで、当法人が一部担当し、厨房も貸し出しました。(7月14日～20日)

発刊に寄せて

社会福祉法人 南山城学園

理事長 磯 彰 格

平素は、法人運営に温かいご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
当法人は平成27年2月に創立50周年を迎えました。過日5月31日には記念式典を無事に執り行わせていただきましたこと、利用者様、保護者様、地域の皆様、関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。

南山城学園がこれまで地域から戴いたものを地域に還元し、法人そのものが地域の財産となるために必要なことは何か。創立50周年という節目を迎え、改めてその原点に立ち返らねばならないと襟を正しております。

平成26年度も四つの法人基本方針である「サービスの質の向上」、「職員の質の向上」、「地域への貢献」、「事業基盤の強化」を掲げ、事業運営を進めてまいりました。

「サービスの質の向上」：事故事例の検討等により発生件数が25%減少し、一定の成果が得られました。保護者アンケート及び訪問調査によりサービスの改善点を明確にし、リスクマネジメント委員会において虐待防止マニュアルの策定を進めるなど、今後のサービス提供に活用してまいります。

「職員の質の向上」：3か年計画で進めてまいりました人財育成マスタープランが完成し、その効果的な継続運用を進めると共に、新研修体系に基づき内部講師の質のレベルアップを図ります。さらに全スタッフに「7つの誓い」をより深く浸透させることに努めます。

「地域への貢献」：地域の人財発掘と育成を目的としたガイドヘルパー養成講座、介護福祉士受験対策講座、介護職員初任者研修を継続しております。また、多目的活動棟「彩雲館」が福祉避難所として実際に機能できるよう整備を進め、外部利用規程を制定するなど、地域の皆様が有効活用できるシステムを構築してまいります。さらに、平成26年9月より開始した新たなスタイルの「複合型コミュニティ農園」では、生活困窮者支援事業における中間的就労の場とすることも目指しています。

「事業基盤の強化」：長期ビジョン及び具体的な中長期計画において、法人内外に法人の将来像を示すことにより、利用者様の幸福追求という基本理念の実現のために、段階を経て目指すべきことを明確にいたしました。

私共スタッフ一同は、これからも社会福祉のパイオニアとしての誇りと信念をたずさえて、次世代の福祉への道標になるべく努めてまいります。これまでであるもの、今あるもの、これから伝えるべきものを見据えながら、常に考え、行動し、社会福祉法人の範となるべく、日々精進して参ります。

本誌をご一読いただき、次の50年に向けた法人のさらなる進歩と深化を感じ取っていただけましたら幸いに存じます。皆様からの温かいご支援とお言葉にいつも励まされ、またご期待の込められた厳しいご意見を糧とさせていただいております。今年度も皆様からの忌憚なきご意見、またご感想をお待ち申し上げます。

平成27年8月

目 次

発刊に寄せて 磯 彰格

目 次

法人の概要 / 施設の概要	1
付近案内図	3
施設の配置図	4
基本理念 / 目的 / トータルイメージ	5
南山城学園職員「7つの誓い」	6
沿革	7
法人基本方針	9
法人 事業計画 / 事業報告	10
実績報告	12
法人決算報告	16

地域貢献編

多目的棟・福祉避難所 彩雲館	18
地域貢献取り組み状況	19
地域交流及び地域活動	21
ボランティア受け入れ	23
散髪ボランティア	24
教育実習・介護等体験等受け入れ・施設見学受け入れ	25
介護福祉士受験対策講座	26
知的障害者移動支援従業者(ガイドヘルパー)養成研修課程	27
介護職員初任者研修	28
講演等職員派遣	29
新聞等掲載	31

障害者支援施設 円

事業計画 / 事業報告 / 日課等	36
-------------------	----

障害者支援施設 和

事業計画 / 事業報告 / 日課等 (檉・櫟)	42
-------------------------	----

障害者支援施設 魁

事業計画 / 事業報告 / 日課等	48
-------------------	----

障害者支援施設 翼

事業計画 / 事業報告 / 日課等	54
-------------------	----

障害者支援施設 凜

事業計画 / 事業報告 / 日課等	58
-------------------	----

障害者支援施設 光

事業計画 / 事業報告 / 日課等	64
-------------------	----

障害者支援施設 輝

事業計画 / 事業報告 / 日課等	68
-------------------	----

共同生活援助(グループホーム)事業・共同生活介護(ケアホーム)事業

事業計画 / 事業報告 / 日課等	72
-------------------	----

知的障害者デイサービスセンター あっぷ

事業計画 / 事業報告 / 日課等	76
-------------------	----

障害者就業・生活支援センター はびねす

事業計画 / 事業報告	82
-------------	----

地域福祉支援センター 城陽

事業計画 / 事業報告 / 日課等	86
-------------------	----

相談部門 / 通所部門

身体障害者デイサービスセンター すいんぐ / 高齢者デイサービスセンター すまいる

地域福祉支援センター 醍醐

事業計画 / 事業報告 / 日課等	94
-------------------	----

相談部門 / 通所部門

障害者デイサービスセンター わこう

高齢者総合福祉施設

事業計画 / 事業報告 / 日課等	100
-------------------	-----

介護老人保健施設 煌 / 通所リハビリテーション 煌

資料編

支援市町村一覧表	106
南山城学園人財育成マスタープラン	107
法人主催研修	109
法人内研修	112
法人外研修	115
第三者評価受診結果	118
理事会・評議員会開催状況	119
役職員等名簿	120

南山城学園 学園歌 / 南山城学園の歌

編集後記



法人の概要

平成27年3月31日現在

法人名	社会福祉法人 南山城学園
代表者名	理事長 磯 彰格
設立年月日	昭和40年2月2日
所在地	京都府城陽市富野狼谷2番地1
職員数	570名（非常勤含む）

施設の概要

【障害者施設 定員数】

障害者支援施設								
	円 〈まどか〉	和 〈なごみ〉	魁 〈さきがけ〉	翼 〈つばさ〉	凜 〈りん〉	光 〈ひかり〉	輝 〈かがやき〉	計
特 色	準高齢者・ 若年重度者 対応	高齢者 対応	就労型	自閉症 対応	地域 移行型	自閉症 対応	高齢者 対応	
施設入所支援	60	79	60	35	40	42	58	374
短期入所	4	4	1	2	2	3	7	23
生活介護	60	79	53	35	49	42	58	376
就労継続支援 A 型			10					10
就労継続支援 B 型			15					15
就労移行支援			12					12

グループホーム・ケアホーム								
	観音堂 ホーム	樋尻 ホーム	寺田 ホーム	長池 ホーム	鷺坂 ホーム	今池 ホーム	古川 ホーム	計
共同生活援助・共同 生活介護（一体型）	6	6	6	6	6	6	6	42

	知的障害者デイサービス センター あっぷ	身体障害者デイサービス センター すいんぐ	障害者デイサービス センター わこう	計
生活介護	30	22	30	82

【高齢者施設 定員数】

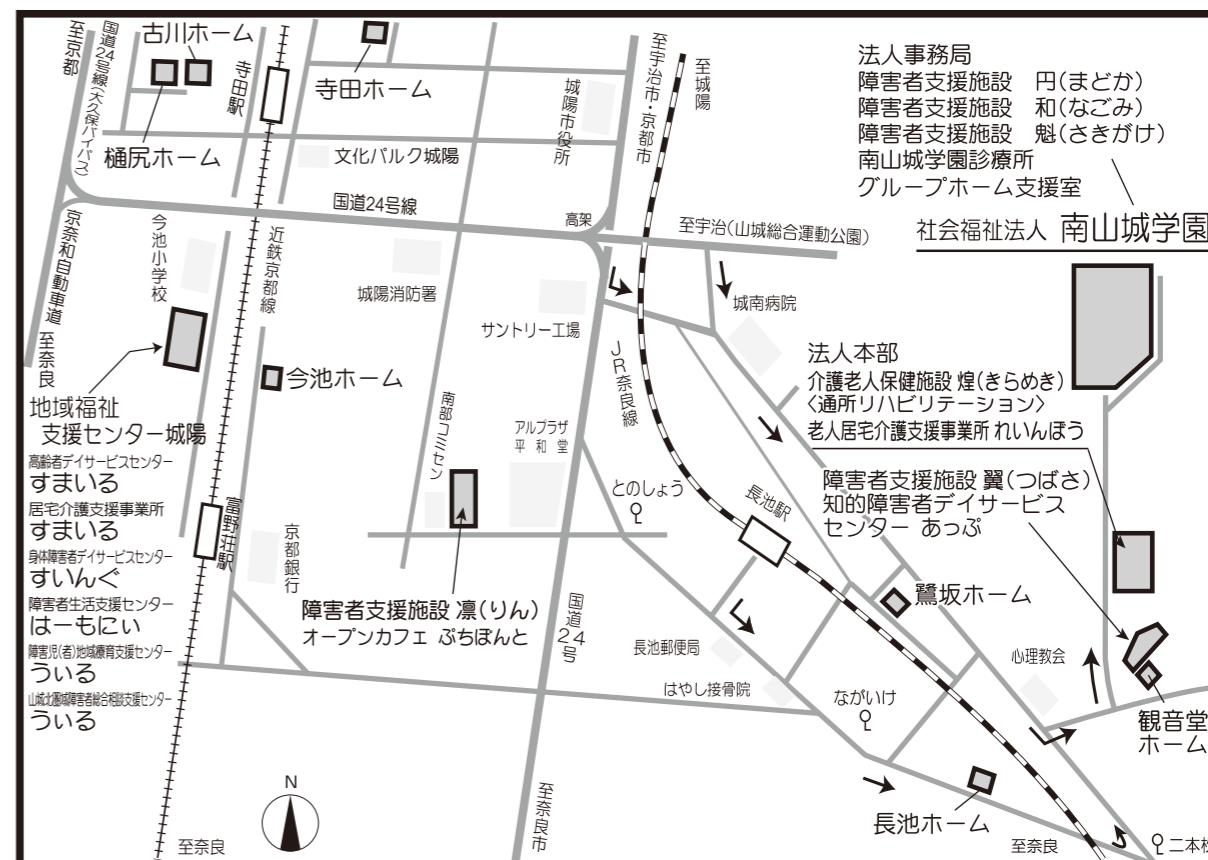
	介護老人保健施設 煌(きらめき)	通所リハビリテーション 煌(きらめき)	高齢者デイサービス センター すまいる	計
入所	100			100
短期入所療養介護	空床型			空床型
通所		30	25	55

【相談支援事業所・その他】

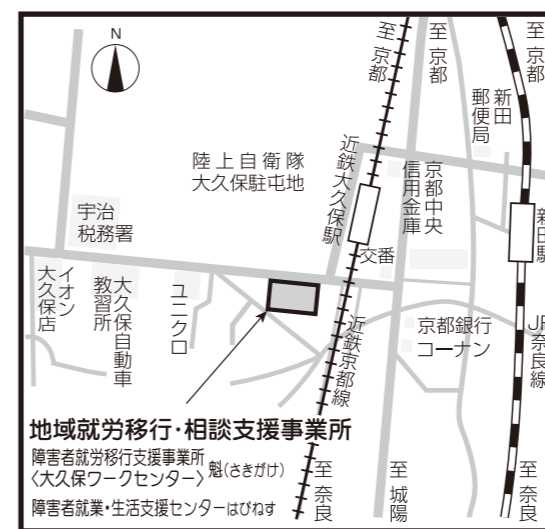
事業所名	事業内容
障害者就業・生活支援センター はびねす	就業、生活面における相談支援事業 (京都府及び京都労働局より委託)
障害者就労移行支援事業所 魁(さきがけ) (大久保ワーク)	一般就労に必要な能力、知識を高める訓練の場
障害者生活支援センター は一もにい	各種相談受付、情報提供、ピアカウンセリングなど
山城北圏域障害者総合相談支援センター ういる	各種専門機関との連携による総合相談窓口、山城北圏域の福祉施設への総合的支援
障害児(者)地域療育支援センター ういる	障害児(者)の地域生活を支えるための相談支援事業
山城北圏域障害者総合相談支援センター ういる	発達障害者ご本人とご家族の地域生活を支えるための相談・支援の総合窓口。医療・教育などの関係機関とのネットワークづくり、研修・普及啓発を行う。
京都府地域生活定着支援センター ふいっと	高齢者または障害者で矯正施設に入所中の方が退所後円滑な地域生活を送れるよう総合的な支援を行う (京都府より委託)
障害児(者)相談支援センター リーフ	京都市在宅心身障害児(者)療育事業(京都市より委託)、指定相談支援事業
居宅介護支援事業所 すまいる	介護が必要な方の相談受付、ケアプランの立案・作成
老人居宅介護支援事業所 れいんぼう	介護が必要な方の相談受付、ケアプランの立案・作成
南山城学園診療所	医療サービス提供 (内科・精神科・リハビリ科・歯科・皮膚科)
和光診療所	医療サービス提供(内科・精神科・皮膚科)

付近案内図

城陽エリア



宇治エリア

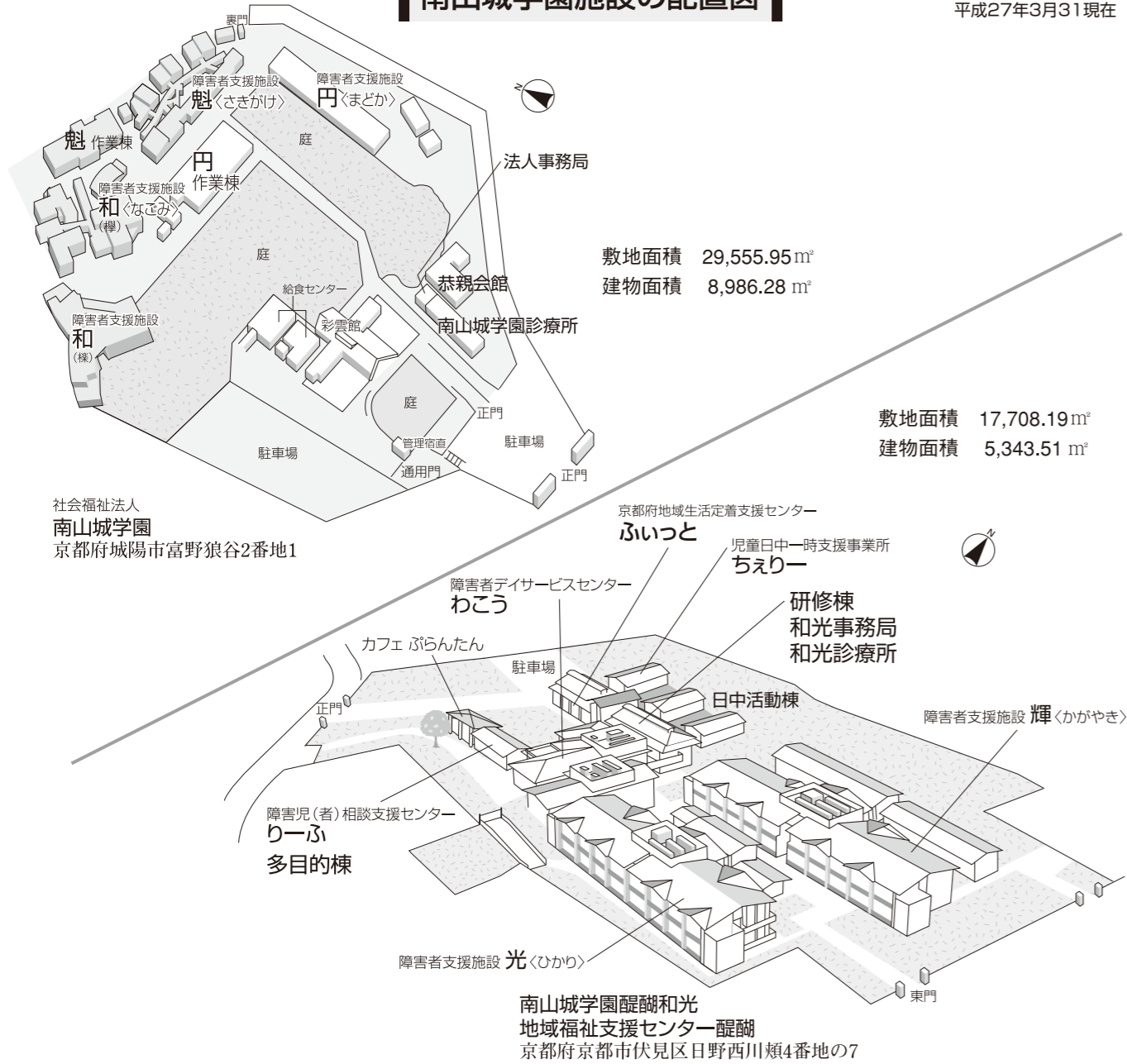


醍醐エリア



南山城学園施設の配置図

平成27年3月31現在



敷地面積 29,555.95㎡
建物面積 8,986.28㎡

敷地面積 17,708.19㎡
建物面積 5,343.51㎡

敷地面積 1,930.22㎡
建物面積 1,200.70㎡

地域福祉支援センター城陽
京都府城陽市枇杷庄中奥田49番地1
1F 高齢者デイサービスセンター すまいる
居宅介護支援事業所 すまいる
障害者生活支援センター はーもにい
障害児(者)地域療育支援センター ういる
山城北園域障害者総合相談支援センター ういる
2F 身体障害者デイサービスセンター すいんぐ

敷地面積 4,218.68㎡
建物面積 1,722.22㎡

2・3F 障害者支援施設 翼
1F 知的障害者デイサービスセンターあつぷ
京都府城陽市観音堂甲畑1番地2

敷地面積 1622.64㎡
建物面積 1827.44㎡

2F 訓練棟
1F オープンカフェ ぶちぼんと
障害者支援施設 凜(りん)
京都府城陽市富野東田部69番地1

敷地面積 2,956㎡
建物面積 4,807㎡

高齢者総合福祉施設
京都府城陽市長池五社ヶ谷14番地1
介護老人保健施設 煌(きらめき)
老人居宅介護支援事業所 れいんぼう

基本理念

- 利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する。
- 地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する。
- いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する。

目的

人は人とふれあって、人らしく生きていく。この考えが私たちの原点です。障害のある方、高齢の方、子どもたちによりそう、それだけで大きなパワーとなると信じています。利用者様、地域の皆様、そしてわれわれ職員が手を取り合って、誰もが幸せに暮らせるよう、全力で努めています。

南山城学園の事業分類

子どもたちの主体性を育む小規模保育

創立50周年を機に、京都市内に3カ所の小規模保育事業をスタートさせました。「あのねが聞ける保育」「いつも笑顔でいる保育」「遊びを成長につなげる保育」「パパ・ママと見守る保育」という4つの方針のもと、子どもたちの自主性を尊び、主体性を育てていきます。

医療と福祉の連携により、安心・安全をサポート

南山城学園は、民間社会福祉法人として数少ない独自の医療機関をもっています。城陽と醍醐に診療所を2カ所と障害者歯科を開設し、施設利用者様の健康管理のほか、地域医療にも貢献。医療と福祉の連携により、安心で安全な生活をサポートしています。

子育て支援

居住支援

相談支援

医療・健康管理

通所支援

● 自分らしく幸せに暮らせるよう、生活全般をサポート
南山城学園の居住施設には、主に知的障害のある方が利用される障害者支援施設やグループホーム、ケアホーム、介護保険適用の高齢の方が利用される介護老人保健施設があります。利用者様一人ひとりに寄り添い、食事・入浴・排泄から仕事・余暇まで、生活全般にわたるサポートを提供しています。

● 住み慣れた地域での暮らしを続けられるよう相談に対応
電話や訪問などにより、障害のある方や高齢の方、またご家族の方からのあらゆる相談に応じています。住み慣れた地域で、安心して、自分らしい豊かな生活を続けられるよう、関係機関と連携を図り、利用者様をさまざまな角度からサポートします。

● 多様なニーズを受けとめ、充実した日中活動の場を提供
「たのしく活動的に過ごしたい」「生産活動で収入を得たい」「心身の機能維持に努めたい」など、地域で暮らす障害のある方や高齢の方の多様なニーズ、一人ひとりの思いや希望に沿った日中活動の場を提供。地域社会の一員としてご自身の存在意義を実感でき、充実した日々を送れるようお手伝いします。

南山城学園職員「7つの誓い」

「7つの誓い」とは、南山城学園職員が、法人の基本理念を具現化するために目指すべき、全職員共通の行動基準である。

従来の「職員倫理綱領」にかわるものとして、平成25年4月1日に制定された。

1. 【質の向上に向けた意欲と実践】

私は、利用者様の幸福のため、利用者ニーズに即応して、結果を出せるよう自らが行動を起こします。

2. 【ルールと正確性の重視】

私は、利用者様、職員など関わるすべての人々の安心・安全のため、ルールを守り正確性を重視します。

3. 【利用者理解と個別サービスの追求】

私は、利用者様の尊厳を守り、利用者様の理解に努め、質の高い個別サービスを追求します。

4. 【セルフイメージの向上と影響力】

私は、社会福祉の一端を担う者としての自覚と自信を持ち、人々に前向きな影響をもたらします。

5. 【職員の支援と育成】

私は、職員として、ともに学び、成長することを、互いの喜び・楽しみとします。

6. 【チームワークとリーダーシップ】

私は、チームの和を大切にしつつ、立場や状況にふさわしいリーダーシップを発揮します。

7. 【専門性の向上と活用】

私は、職務に必要な専門的、組織的能力を身につけ、発展させ、活用します。

沿革

昭40.	2.	2	法人創立認可 理事長 磯 斉志
	3.	1	開園 定員30名
41.	10.	30	第2期工事完了 居室(元 杉寮)サービス棟 増築 定員70名
44.	10.	30	第3期工事完了 居室2棟(元 樅寮)増築 定員120名
46.	11.	30	第4期工事完了 居室1棟(元 楠寮)築 定員180名 機能訓練棟(元 体育館) 診療所 増築
48.	3.	30	作業訓練棟(現 あすなろ工場) 増築
49.	5.	31	第5期工事完了 居室(元 松寮)1棟 増築 定員220名 第2診療所(元 桧寮) 増築 授産施設(現 魁) 新築
	10.	1	授産施設(現 魁)開園 定員60名
50.	2.	2	法人創立10周年
	3.	31	南山城学園沖縄分園 開園 定員100名 (成人更生施設)
52.	3.	31	沖縄分園 独立 社会福祉法人名護学院となる
57.	11.	2	授産部第一作業棟新築
59.	5.	1	第1久御山ホーム開設(元 相楽庵)
60.	2.	2	法人創立20周年
62.	3.	20	第2久御山ホーム開設(元 宮の後ホーム)
63.	11.	1	恭親会館新設
平 3.	4.	1	地域授産促進事業開始
	8.	31	第6期工事完了 居室1棟(現 樺寮)増築 定員220名
平 5.	3.	31	クリーニング産業廃棄処理施設(浄化槽)完成(中央競馬福祉財団助成)
平 6.	3.	1	第1・2観音堂ホーム開設(現 観音堂ホーム)
	4.	28	第7期工事完了 授産棟(現 魁)改築
平 7.	2.	2	法人創立30周年
	3.	6	創設者 磯 斉志 理事長 逝去
	3.	10	磯 彰格 理事長就任
平 8.	7.	30	慰霊塔竣工
	10.	18	陶芸窯及び付帯設備 設置(中央競馬福祉財団助成)
平10.	1.	21	クリーニング作業 大型全自動洗濯機2台、乾燥機2台、その他付帯設備設置(中央競馬福祉財団助成)
平11.	7.	1	第8期工事完了 老朽改築に伴う施設分割(更生施設円・和・翼、社会就労センター 魁となる) ・知的障害者更生施設(入所)和<なごみ>樺寮 開設 ・知的障害者更生施設(入所)翼<つばさ>開設 ・知的障害者デイサービスセンター あっぶ 開設
平12	1.	21	樺寮エレベーター設備 設置 (中央競馬福祉財団助成)
	10.	1	地域療育等支援事業として 知的障害児(者)地域療育支援センター ういる 開所

平成 26 年度 法人基本方針

【法人理念】

- ・利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する。
- ・地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する。
- ・いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する。

【基本方針】

障害者総合支援法や障害者虐待防止法の施行をはじめとする関係法令の改正により、社会福祉を取り巻く環境は日々変化しております。また、生活支援戦略に代表されるように社会福祉法人に求められる役割が今まで以上に大きくなってきております。

これらの情勢に対応するために、法人としてこれまで培ってきたノウハウを活かすとともに、権利擁護をはじめとした日々のサービスや地域貢献等の公益的な取り組みをより積極的に行う使命があります。加えて、人材の育成を通して、職員が社会福祉法人の役割と法人理念を再確認し、より質の高いサービスを提供するため、平成 26 年度は以下の 4 項目に重点的に取り組みます。

1. サービスの質の向上

(利用者様の人権を尊重し、ニーズに即したサービス提供を目指します。)

2. 職員の資質の向上

(社会福祉法人の職員として必要な資質を高めることを目指します。)

3. 地域への貢献

(関係機関と連携・協働し、地域貢献活動を推進します。)

4. 事業基盤の強化

(既存事業の整備や見直しを図り、基盤強化に努めます。)

平 1 4 .	3 .	1 8	第 9 期工事完了 地域福祉支援センター城陽創設
	4 .	2 8	地域福祉支援センター城陽開設 ・高齢者デイサービスセンター すまいる ・居宅介護支援事業所 すまいる ・身体障害者デイサービスセンター すいんぐ ・障害者生活支援センター はーもにい
平 1 6 .	4 .	1	障害者就業・生活支援センター はびねす 開設
	1 1 .	1	樋尻ホーム開設
平 1 7 .	2 .	1	第 1 0 期工事完了 知的障害者更生施設 円くまどか>改築 知的障害者更生施設 凜くりん>開設
	2 .	2	法人創立 4 0 周年
	4 .	1	ういるを地域福祉支援センター城陽に移転
	4 .	1	寺田ホーム開設
	6 .	1	第 1 ・第 2 観音堂ホームを統合(観音堂ホームとなる)
	7 .	1	長池ホーム開設
	1 0 .	1	第 1 1 期工事完了 介護老人保健施設 煌くきらめき>開設 ・訪問介護ステーション はみんぐ ・老人居宅介護支援事業所 れいんぼう
平 1 8 .	1 0 .	1	相楽庵を鷺坂ホームへ改名、移転
	1 1 .	1	平成 1 8 年度マイクロバス助成事業(財団法人中央競馬馬主社会福祉財団)
平 1 9 .	2 .	1	診療所、活動訓練棟改築
	4 .	1	今池ホーム開設 宇治市大久保に事業所を開設 ・障害者就労移行支援事業所 魁くさきがけ>(大久保ワークセンター) ・障害者就業・生活支援センター はびねす(移転) ・山城北圏域障害者総合相談支援センター ういる
平 2 0 .	3 .	1	古川ホーム開設
	3 .	3 1	訪問介護ステーション はみんぐ廃止
平 2 2 .	4 .	1	京都市醍醐和光寮 運営主体 法人へ移管
	6 .	1	運営移管に伴い開設 ・障害者支援施設 光くひかり> ・障害者支援施設 輝くかがやき> ・和光診療所
	1 1 .	3 0	京都府地域生活定着支援センター ふいっと 開所
平 2 3 .	3 .	1	障害者支援施設 輝にて 児童日中一時支援事業所 ちえりー 開所
	4 .	1	地域福祉支援センター醍醐 開設 ・障害者デイサービスセンター わこう ・カフェ ぶらんとん ・障害児(者)相談支援センター りーふ
平 2 5 .	4 .	2 0	本園厨房 新設
	7 .	1	宮の後ホーム 廃止
平 2 6 .	6 .	1	彩雲館竣工
平 2 7 .	2 .	2	法人創立 5 0 周年

基本方針	事業計画 (Plan)	
	項目	内容[数値・実施時期等]
1 サービスの質の向上	(1) リスクマネジメント及び権利擁護の強化	本部リスクマネジメント委員会において、法人全体の防災、BCP（事業継続計画）、各種事故予防及び発生時対応の体制を強化するとともに、虐待防止及び利用者の権利擁護に向けた取り組みを強化する。 年間通じて
	(2) サービス向上プロジェクトの設置	「虐待防止委員会」にサービス向上プロジェクトを設け、各施設における利用者サービスの向上を図る。 四半期毎に実施
2 職員の質の向上	(1) 人材育成の強化	①人財育成マスタープランを完成させる。特にOJTの仕組みの標準化を図る。 予定に基づく
		②新研修体系の本格実施を行うとともに、施設長を中心とした内部講師の育成を図っていく。 年間通じて
	(2) 人材の確保及び定着	①「GAKUEN魅力発信チーム」（仮称）を設置し、各種採用活動において、「現場からの生の情報発信」を強化するとともに、職場体験、実習など教育機関との関わりを強化する。 年間通じて
		②職員、特に準職員及びパート職員の定着率を向上させるため、求人方法の見直しなどの採用活動の強化を図る。 年間通じて
3 地域への貢献	(1) 新多目的棟の積極的活用	多目的活動棟の完成に併せ、福祉避難所の指定を受け、地域における安心・安全な施設として有効活用を行う。 年間通じて
	(2) 地域の福祉人材の育成	地域人材の育成を目的としてガイドヘルパー研修の実施やその他各種講座を開催する。 年間通じて
4 事業基盤の強化	(1) 法人設立50周年に向けた取り組み	平成27年2月に法人設立50周年を迎えることから、その事業概要（記念式典等の具体化等）を確定し、準備を進める。 年間通じて
	(2) 長期ビジョンと中期計画の策定	法人の将来像を示す長期ビジョンを策定し、それに基づく中期計画を作成する。 年間通じて
	(3) グループホームの設置促進	地域移行をより積極的に行うため、支援室の体制強化を図り、新規グループホームの設置を検討する。 年間通じて
	(4) 広報活動の見直し	法人ホームページのより積極的な活用を行うため、広報委員会において、職員からの意見を幅広く聴取し内容の充実を図る。 年間通じて
	(5) 財務基盤の安定化	消費税の増額や今後の報酬改定など外部環境の変化を見据え、各種経費の見直しをはかり、財務基盤の安定に努める。 年間通じて

取り組み内容 (Do)		評価及び改善方法 (Check&Action)
内容	達成率	
防災面では、大規模災害時対応マニュアルの策定に着手した。また事故事例の検討を実施した。	80%	大規模災害マニュアルを完成させる。事故事例の検討等により発生件数が減少した。
行動指針及び対応マニュアルを完成するとともに、保護者等アンケート及び訪問調査を初めて実施した。	100%	保護者等アンケート及び訪問調査の結果により対象施設の改善点を明確にできた。今後のサービス提供に活用していく。
ステップアップノートを作成しOJTの仕組みの標準化を図るとともに、育成担当者研修を実施し「7つの誓い」の浸透を図った。	100%	人財育成マスタープランの2年半の取組みが完成したので、確実な継続運用を行い、「7つの誓い」の浸透を更に強化する。
新研修体系に基づき施設長等の内部講師による研修を実施し育成に努めた。	100%	研修の振り返りを行い、内容の見直しとともに講師自身の振り返りを行い改善に努めた。次年度以降も継続して実施する。
チームメンバーを就職フェアや大学等での講義、京都府人材確保総合事業等へ派遣し情報発信に努めた。	100%	積極的な情報発信により、正規職員の採用を順調にすすめることができた。更なるレベルアップを図る。
準職員・パート職員について求人媒体の見直し等を図った。	40%	応募状況に若干改善が見られるが、採用については結果が出ていない。求人や選考方法の見直しを引続き行う。
多目的活動棟「彩雲館」が6月に完成、10月には城陽市との福祉避難所協定を締結し、備蓄食を整備した。	100%	訓練により福祉避難所としての課題が見つかったので、今後検討する。外部利用規程を制定し、地域での活用を積極的にすすめる。
ガイドヘルパー研修、介護福祉士受験対策講座、介護職員初任者研修等を実施した。	100%	予定に基づき各種講座を実施した。次年度以降も引続き実施し地域人材の育成に努めていく。
法人ロゴマークの策定や記念誌の作成、記念式典の概要確定等、50周年事業の準備を進めた。	100%	50周年事業の準備を順調に進められた。5月31日の記念式典に向けて最終調整を行う。
職員ヒアリングや外部環境調査等を基に、ネクストビジョン2025及び中期経営計画2020を策定した。	100%	ネクストビジョン2025及び中期計画2020の具体的実施に向けた取り組みを進めていく。
新規物件を調査しているが適合する物件が見当たらず新規開設には至っていない。	20%	スプリンクラー設置義務化への対応含め、今後の方針を抜本的に見直す必要がある。
委員会において職員の意見を聴取し、ホームページ及び法人パンフレットの見直しについて検討した。	100%	検討結果を基に、次年度中にホームページの全面改定を行い、利用希望者や地域等へ訴求力のある内容とする。
高速プリンターの導入や通信費用の見直し等を行い、各種経費の削減に努めた。	90%	各種経費の見直しにより一定の削減は出来た。次年度以降も、削減項目を確定し計画に基づき実施していく。

平成26年度 実績報告

【障害者施設】

(施設入所、短期入所及び日中一時)

	定員	H26稼働率	目標値	目標達成率	前年比
円	64人	95.3%	100.0%	95.3%	95.5%
和	83人	94.0%	100.0%	94.0%	95.3%
翼	37人	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%
凜	42人	98.3%	100.0%	98.3%	98.1%
魁	61人	96.7%	100.0%	96.7%	97.4%
光	45人	98.2%	100.0%	98.2%	97.5%
輝	65人	95.4%	100.0%	95.4%	95.1%
合計	397人	96.8%	100.0%	96.8%	96.7%

(日中サービス)

		定員	H26稼働率	目標値	目標達成率	前年比
円	生活介護	60人	96.0%	100.0%	96.0%	94.8%
和	生活介護	79人	95.6%	100.0%	95.6%	97.3%
翼	生活介護	35人	97.7%	100.0%	97.7%	97.2%
凜	生活介護	49人	91.4%	100.0%	91.4%	90.7%
魁	生活介護	55人	100.1%	100.0%	100.1%	101.9%
	就労移行	12人	30.8%	100.0%	30.8%	41.1%
	就労継続A	10人	113.8%	100.0%	113.8%	108.5%
	就労継続B	15人	91.3%	100.0%	91.3%	93.5%
光	生活介護	42人	98.6%	100.0%	98.6%	99.0%
輝	生活介護	58人	96.6%	100.0%	96.6%	95.2%
合計		415人	91.2%	100.0%	91.2%	91.9%

		定員	H26稼働率	目標値	目標達成率	前年比
あっぷ	生活介護	30人	77.5%	85.0%	91.2%	75.1%
すいんぐ	生活介護	22人	81.8%	88.0%	93.0%	86.2%
わこう	生活介護	30人	71.9%	80.0%	89.9%	79.8%
合計		82人	77.1%	84.3%	91.3%	80.4%

	定員	H26稼働率	目標値	目標達成率
GH	42	92.8	100.0%	92.8%

(障害者施設利用者年齢分布)

円

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	0	2	3	11	8	9	33	51.0
女	0	2	2	6	9	9	28	52.2
計	0	4	5	17	17	18	61	51.6

和

	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	平均(歳)
男	0	0	4	19	10	5	38	67.3
女	0	1	3	14	17	4	39	69.2
計	0	1	7	33	27	9	77	68.3

魁

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	1	4	6	9	8	7	35	45.9
女	0	1	0	7	5	8	21	53.0
計	1	5	6	16	13	15	56	49.0

翼

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	0	0	4	12	3	0	19	43.9
女	0	2	3	7	3	1	16	44.5
計	0	2	7	19	6	1	35	44.2

凜

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	0	1	3	3	1	13	21	54.0
女	1	2	0	6	5	6	20	49.7
計	1	3	3	9	6	19	41	52.0

光

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	0	5	6	10	10	0	31	42.8
女	0	2	2	3	3	1	11	44.4
計	0	7	8	13	13	1	42	43.2

輝

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	0	2	2	7	14	7	32	53.8
女	0	2	0	4	9	11	26	60.3
計	0	4	2	11	23	18	58	57.0

入所施設

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	1	14	24	52	48	70	209	49.5
女	1	11	7	34	37	71	161	54.1
計	2	25	31	86	85	141	370	52.2

グループホーム・ケアホーム

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均(歳)
男	0	1	2	9	9	6	27	52.8
女	0	0	0	1	1	11	13	64.3
計	0	1	2	10	10	17	40	56.5

(入退所・施設移行)

入所 15名

〈内訳〉

施設名	人数	入所日
円	3	6/17、7/14、3/4
和	8	5/9、6/20、6/24、6/27、12/1、1/18、2/18、3/2
魁	1	9/9
翼	1	10/27
凜	2	12/1、12/5

退所 15名

〈内訳〉

施設名	人数	退所日
和	2	4/7
魁	2	11/26、3/9
円	1	4/30
死亡 10名		
円	1	1/8
魁	1	1/7
和	6	4/18、10/11、11/1、11/5、1/7、2/3
凜	1	11/5
GH	1	8/10

施設間移行 10名

〈内訳〉

施設名	人数	移行日
魁より和へ	2	5/9、1/18
翼より円へ	1	7/24
円より凜へ	1	1/29
光より輝へ	1	3/4
輝より煌へ	1	2/19
凜より煌へ	1	11/25
和より煌へ	2	2/5、3/17
GHより和へ	1	6/20

【高齢者施設】

	定員	H26稼働率	目標値	目標達成率	前年比
煌 入所及び短期入所	100人	92.0%	97.0%	94.8%	91.3%
煌 通所	30人	87.3%	90.0%	97.0%	83.7%
デイすまいる	25人	86.3%	88.0%	98.1%	77.7%

【相談事業・その他】

はびねす

	H26	目標値	目標達成率
新規登録者	135人	100人	135.0%
相談件数	4,188件	3,700件	113.2%
職場実習件数	38件	37件	102.7%
就職者数	44人	35人	125.7%

魁

		※助成収入 単位：千円	
		H26	前年比
ジョブコーチ	支援日数	78	127.9%
	助成収入	1,059	127.4%

ういる、はーもにい、りーふ、居宅すまいる、れいんぼう

		※請求額 単位：千円	
		H26	前年比
ういる	請求額	9,217	92.4%
	療育件数	2,650	94.5%
	相談件数	4,480	92.3%
はーもにい	相談件数	16,919	107.6%
りーふ	相談件数	1,286	107.2%
居宅すまいる	請求額	6,649	93.8%
	月平均利用者数	56	98.2%
れいんぼう	請求額	3,682	96.3%
	月平均利用者数	21	99.1%

ぷちぼんと、ぷらんたん

		※年間売上 単位：千円	
		H26	前年比
ぷちぼんと		2,065	111.4%
ぷらんたん		4,595	953.3%

平成26年度 法人決算報告

単位:千円

科 目	金 額
貸 借 対 照 表	
流動資産	1,796,132
固定資産	6,519,979
資産合計	8,316,111
流動負債	803,446
固定負債	1,346,373
純資産	6,166,292
負債及び純資産合計	8,316,111
事業活動計算書	
【サービス活動増減の部】	
サービス活動収益計(1)	3,268,700
(運営収益)	3,256,514
(寄附金収益)	11,030
(その他収益)	1,156
サービス活動費用計(2)	3,008,565
(人件費)	1,859,904
(事務費・事業費)	963,559
(減価償却費)	157,945
(その他費用)	27,157
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	260,135
【サービス活動外増減の部】	
サービス活動外収益計(4)	18,667
サービス活動外費用計(5)	31,094
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 12,427
経常増減差額(7)=(3)+(6)	247,708
【特別増減の部】	
特別収益計(8)	363,290
特別費用計(9)	317,368
特別増減差額(10)=(8)-(9)	45,922
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	293,630
前期繰越活動増減差額(12)	2,981,215
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	3,274,845
新規事業積立金積立額(14)	1,010,000
次期繰越活動増減差額(15)=(13)-(14)	2,264,845